

令和5年中の被害者アンケート実施結果

～令和5年中の被害者対象(被害者128件124人のうち調査協力者106人)～

★ 「うそ電話詐欺」という犯罪を知っていたか(106人中103人回答)

- ・知っていた～59人, 約57%
- ・多少は知っていた～37人, 約36%

「知っていた」、「多少は知っていた」が約93%。

★ うそ電話詐欺に対する意識(106人中105人回答)

- ・だまされないと思っていた～93人, 約88%

約88%が、「だまされないと思っていた」と回答。

★ 最初, 犯人(相手)から連絡(電話)があった際の意識(106人中106人回答, 複数回答あり)

- ・全く不審に思わなかった～54人, 約51%
- ・多少, 不審に思ったが, 内容に興味があった～21人, 約20%
- ・おかしい話だと思った～10人, 約9%
- ・優しい言葉遣いに安心してしまった～10人, 約9%

106人中54人(約51%)が、「全く不審に思わなかった」と回答。
31人(約29%)は, 多少, 不審に思った, おかしな話だと思ったと回答。

★ うそ電話詐欺の被害防止に関する注意喚起を受けたことがあるか(106人中106人回答)

- ・受けたことがある～89人, 約84%

約84%が, テレビ・インターネット・新聞・警察の広報紙や講話等何らかの注意喚起を受けており, そのうち約85%は「良く理解できた」と回答。理解できなかった理由は, 自分には関係ないと思ってよく見なかった・聞き流していた など。「注意喚起を受けたことがない」との回答者は, うそ電話詐欺の情報を得ていない傾向にある。

★ 家族等への相談の有無(106人中104人回答)

- ・相談なし～65人, 約63% (相談あり～39人, 37%は, どの段階で相談したのかは不明)

約63%は未相談で被害に遭っている。家族など相談相手がいると回答しているのは約88%
相談していない理由は, だまされていると思っていなかった, 相手の言うことを信じた, 知られなくなかった, 家族に怒られると思った, 迷惑や心配をかけたくなかった, 恥ずかしい・後ろめたい気持ちがあった, 相手から口止めされていた など。

★ 電子マネーについて(47人中43人回答)※電子マネー型の被害者

- ・電子マネーの仕組みを知っていた～10人, 約23%

電子マネーについては, 約77%が利用方法を知らなかった, 存在自体を知らなかったと回答。

★ 架空料金請求詐欺の被害関係者(対象者70人中68人回答, 複数回答あり)

- ・支払った料金は返金されるという言葉信じた～24人
- ・実在する会社等を名乗ったので信じた～20人
- ・サイトの登録(解除)の料金は支払わないといけなかった～20人

特に上記の回答が多く, 犯人の巧妙な手口やだまし文句を信じ, 被害に遭っている。

★ どんなことに注意しておけば被害に遭わなかったと思うか(106人中106人回答, 複数回答あり)

- ・うそ電話詐欺の手口を知っていれば思いとどまった～61人
- ・金融機関職員やコンビニの店員に声を掛けられていたら思いとどまった～29人
- ・送金する際に誰かに声を掛けられていれば思いとどまった～25人
- ・相談できる人がいれば相談して思いとどまった～21人

特に上記の回答が多い。

★ その他の特徴

「儲け話の内容が魅力だった」と回答している被害者が複数おり, 特に投資に関係する被害者は, SNS上の広告や検索した投資サイト等にアクセスし, SNSでのやりとりやグループトークへの参加により投資を始め, 最初, 多少利益が振り込まれたり, アプリ上では利益が出ているように見せかけられる手口により, 相手を信じ込んでいる。

※ うそ電話詐欺撃退装置箇所での固定電話端緒の被害なし

※ ナンバー・ディスプレイや留守番機能付電話機設置箇所での固定電話端緒の被害はあり(活用がなされていないと思慮される)